

開講科目名 / Course	成人看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	古賀 雄二	
担当教員名 / Instructor	古賀 雄二	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	ライフサイクルにおける成人期の特徴について、身体的・心理的・社会的側面から理解し、成人の生活を支援するための保健・医療・福祉システムについて学修する。また、健康障害を潜在的・顕在的に有する成人とその家族への看護を考えるための基本的な看護理論・概念を学び、急性期、回復期（リハビリテーション看護）、慢性期、終末期の経過にある人や療養の場とその移行を支える援助を考察する能力を養う。	
到達目標	1. 成人の定義および成人をとりまく状況とライフスタイルの多様性について説明することができる。 2. 成人の発達段階や発達課題、身体・心理・社会的特徴を説明できる。 3. 成人の健康障害について説明することができる。 4. 成人の看護に必要な基本的アプローチを説明することができる。 5. 成人の生活と健康を守り育む保健・医療・福祉システムについて説明することができる。 6. あらゆる健康障害レベルにある成人について看護理論・概念を用いて説明することができる。 7. 健康障害（急性期・回復期・慢性期・終末期）をもつ成人への看護援助方法を説明することができる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性	
授業計画	01. 成人期の定義と特徴および成人をとりまく今日の状況と課題 02. 成人期にある人の健康と健康を守り育む保健・医療・福祉システム 03. 成人期にある人を看護するための基本的な考え方 04. 健康状態に応じた看護 ヘルスプロモーションとヘルスプロテクション 05. 健康状態に応じた看護 急性期 06. 健康状態に応じた看護 回復期 07. 健康状態に応じた看護 慢性期 08. 健康状態に応じた看護 終末期	
その他の授業の工夫	学生自身が主体的に学び、理解を深められるように予習・復習の視点を提示する。 成人期の特徴を自ら捉えられるようにグループでの事例検討を行う。事例は講師の臨床経験などを取り入れ、イメージしやすいように構成して講義を行う。	
時間外学修	事前学修：次回の学習内容について配布資料や教科書を用いて予習する（10h）。 事後学修：配布資料を用いて復習する（12h）。	
評価方法と評価割合	筆記試験：100%	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1]（医学書院）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他	必要に応じ、ハンドアウトを提示する。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	古賀雄二：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護実践経験を踏まえ、学生の興味関心が高まるよう看護実践事例の紹介や事例検討を取り入れ講義を行う。	